



## 女の子も男の子も、みんなで **お仕事体験!** ～「消防士体験学習」を取材～

夏休みの7月30日、秦野市消防本部にて消防士の体験をする「みんなでお仕事体験」を取材してきました。当日は、小学生の男女14人（男子8人、女子6人）と保護者が参加し、消防署内及び消防車の見学、はしご車の乗車体験、放水体験など盛りだくさんの内容でした。

初めは緊張していた子どもたちも、次第に慣れ、消防士の説明を聞く様子は真剣そのもの。放水体験では、女性消防士の指導のもと、重いホースを持ち、的に向けて放水スタート。はしご車の乗車体験では、はしごがビル10階分の高さまで到達すると、子どもたちだけでなく保護者からも大きな歓声が上がりました。

現在、秦野市では消防職員約200人のうち8人の女性消防職員がいます。当日は、消防隊員4年目、救急隊員6年目の女性職員からお話を伺いました。2人とも、誇りとやりがいを持って、日々の業務に励んでいられることが伝わり、大変頼もしく感じました。

幼い頃から、性別にかかわらず、いろいろな仕事に関心を持つことは、とても大切です。また、今回のように実際に体験をしてみるということは素晴らしいことです。

これからも、やってみたい仕事や将来の夢を、性別にかかわらず自由に選ぶことができる社会をつくっていきましょう。

### 参加した子どもたちの感想

- ★はしごで30メートルまで上がったけどこわくなくてとても楽しかったです。
- ★はしご車に乗ったことが一番楽しかった。
- ★もう、とても楽しすぎて困った。
- ★消防士さんになりたいです。
- ★放水体験とはしご車が楽しかった。
- ★次は、消火器体験をやりたいです。



女性消防隊員と一緒に親子で放水体験

### みんなで考える?

## 「男女共同参画」



### ◆男女共同参画って何だろう?

「男の子だから」「女の子だから」「男の子のくせに」「女の子のくせに」とか言われたことはありますか?

女子・男子といった性別に関係なく、お互いの長所や「自分らしさ」を認め合って、みんなで協力していくことを「男女共同参画」といいます。

### ◆男女共同参画は、なぜ必要なんだろう?

好きなことや得意なことは、人それぞれです。

だれもが自分の個性や能力をいかせる社会では、みんな平等にチャンスがあり、いろいろなことにチャレンジすることができます。そのような社会では、一人ひとりがイキイキと自分らしい生活を送ることができ、それが元気であり続けることができる社会へとつながっていくからです。

※「参画」とは、単に参加するだけでなく、自ら責任を持って関わることをいいます。

## ●イベント情報●

### はだの市民が創る男女共同社会推進会議

行政と連携し、男女共同社会を実現するための市民組織として、平成5年から活動しています。

### ★主な活動★

#### 11月3日(日)祝 市民の日

男女共同参画アンケートにご協力いただいた方に、おいしくてボリュームのあるフランクフルトを100円で販売します。

場所はカルチャーパーク第2駐車場(文化会館と陸上競技場の間)



#### 11月21日(木) 女性に対する暴力防止キャンペーン

11/12～25の「女性に対する暴力をなくす運動」週間に合わせ、啓発活動を行います。女性に対する暴力は、女性の人権を侵害するものであり、決して許されない行為です。

◆場所：秦野駅周辺 ◆時間：午後6時から

#### 11月23日(土)祝 人権・男女共同参画を考える会

公演会のほか、表彰式やパネル展示などを行います。

### 「感謝の心で奏でる津軽の響き」

……………講演、三味線演奏

- ◆会場：秦野市保健福祉センター 多目的ホール
- ◆時間：午後2時から午後3時30分
- ◆講師：来世楽(らせら 津軽三味線ユニット)

### 事前申込制(先着順)

◆受付電話：0463(82)5128(市民相談人権課) ♥手話通訳あり  
0463(82)7618( )



## 女性のための悩み相談室(秦野市)

～相談費用は無料・秘密は厳守します～

**相談日** 毎週月～木曜日、第2土曜日(祝日・年末年始を除く)

**相談時間** 午前10時～正午、午後1時～3時

**相談内容** 夫婦、家族、職場の問題など女性の悩み全般

**相談方法** ①電話相談：上記の相談時間内に直接お電話ください。ただし、第2土曜日は、事前予約制です。

【専用電話】0463(83)1812

②面接相談：前日までにお申込みください。

【予約電話】0463(82)5128

(市民相談人権課)

※第2土曜日は、電話相談、面接相談ともに事前予約制です。

会津若松市では「男女平等に関する作文コンクール」を毎年開催しています。その中の一部を紹介します。「私のいえでは、お母さんとおばあちゃんが家のしごとをしています。いえのしごとは、女の人がするものとみんなおもっていると思います。でも、男の人がしても私はいいと思います。男だからとか、女だからとかではなくて、できる人がやるのがいちばんいいと思います。」(平成17年度 小学生低学年の部 優秀賞 鴻巣佑惟さんの作文から引用) この作文は男女平等について考え、家の仕事を日々担っている母と祖母の性別役割への違和感を表現しています。男女共同社会推進会議では意識啓発など実践的な成果がでるよう、これからも一步一步前進していこうと思います。

令和元年度広報部長 伊東貞美・大園克己・小泉裕子・白鳥光子・内藤和子・南塚厚志・古家九二雄・渡辺絵・山谷洋子